

事業番号	15 04 08	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援教育に関する機能強化モデル事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か 年計画	プロジェクト			課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	H25 ~ H28		

### 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の今日的課題に対応し、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うための実践研究に総合的に取り組むことにより、特別支援教育の更なる充実を図る。</li> <li>実践研究の成果を広く県下に発信することにより、それぞれの学校力・地域力を高め活かす体制を充実する。</li> </ul>
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小中高等学校の発達障がいのある児童生徒が増加しているが、学級担任がこれまでの支援体制・支援内容では対応が困難な事例がある等、新たな課題が表出している。</li> <li>この新たな課題は、全国的に見られる課題であり、解決のために国としても当事業に取り組み、研究を都道府県に委託している。</li> <li>当事業で研究対象としているものは、長野県においても課題となっており、課題対応のための実践モデルが求められている。</li> </ul>

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施：実施は困難	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 文部科学省委託事業
----------	--------------------------------------	-----------------------------------

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年間の取組を通して向上してきた特別支援学校の専門性と特別支援学校間のネットワークを活用し、地域の幼保小中高等学校等のニーズに応える講演会・研修会・巡回相談・教育相談等を行う。</li> <li>高等学校特別支援教育研究会において、モデル校での実践研究の成果報告を行い、県下の高等学校における特別支援教育の充実を図る。</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 特別支援学校機能強化モデル事業 (H25～H27)	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校としての専門性を強化</li> <li>各校の課題に応じた専門的な視点からの継続的な事例検討会や研修会等の実施</li> <li>事例の蓄積・事例集の作成、教材の製作等</li> <li>地域内の小中学校等を支援</li> <li>各校の専門性を活かした地域の小中学校等に対するの合同研修会、事例検討会等の開催 (189回)</li> <li>事例集の配布などによる専門性の高い特別支援教育の普及</li> <li>活用した外部人材の総数 (67人)</li> <li>研究実践校: 県下18校の特別支援学校</li> </ul>	16,744	10,921	0
	2. 高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究 (H26～H28)	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関と連携した支援体制の構築</li> <li>特別教育指導教員の配置</li> <li>職員研修の実施 4回</li> <li>公開研修授業の実施 2回</li> <li>障がいに応じた特別の指導、能力・才能を伸ばす重点指導</li> <li>研究実践校: 箕輪進修高等学校</li> </ul>	3,788	2,408	4,212
	合計			20,532	13,329	4,212

事業 コスト	区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算		28,857	20,532	4,212
	補正予算	24,629	-5,644	-3,381	
	合計(A)	24,629	23,213	17,151	4,212
	Aの財源				
	一般財源	0	0	0	
	県債				
	国庫支出金	24,629	23,213	17,151	4,212
	その他	0	0	0	0
決算額(B)	13,976	15,561	13,329		
概算人件費					
職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
概算人件費(C)	1,652	1,652	1,655	1,655	
概算事業費(B(A)+C)	15,628	17,213	14,984	1,655	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28
		目標	成果	達成状況	目標
1 幼保小中高等学校のニーズに応じた講演会・研修会の開催回数	—	特別支援学校18校で40回開催	特別支援学校18校で189回開催	達成	—
2 研究成果報告書の配布	1,000部	—	—	—	—
3 高等学校特別支援教育研究会での成果報告	—	研究会の参加者100名以上	研究会の参加者144人	達成	研究会の参加者100名以上

目標に対する成果の状況	「特別支援学校機能強化モデル事業」では、県下18の特別支援学校において、地域の幼保小中高等学校のニーズに応える形で、講習会や研修会を開催した。地域の関係者からの要望も強く、当初の目標を大きく上回り189回開催することができた。また、「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」の研究成果についても、144人の参加者があった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、国の委託事業であり、平成27年度で終了するが、本事業により得られた成果を、特別支援学校での指導と、特別支援学校のセンター的機能による、地域の小中学校に対する支援の充実に活かしていく。</li> <li>「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」については、箕輪進修高校において、さらに研究を深めていく。</li> </ul>